

平成16年度第6回経営協議会議事要録

日 時：平成17年1月20日（木） 14：00～16：20

場 所：特別会議室（事務局3階）

出席者：崎元 達郎、足立 啓二、小野 友道、平山 忠一、大迫 靖雄、長木 正治、良永彌太郎、
三池 輝久、稲垣 精一、江口 吾朗、井上 孝美、園田 頼和、田川 憲生、
平田 耕也、星子 邦子、

欠席者：谷口 功、小田切優樹、小堀 富夫、丸野香代子、鎌水 洋

議事の追加について

議長から、議事の2として「平成17年度における本学の授業料等について」を、議事の3として「平成17年度経営協議会の開催日程について」を審議願う旨発言があった。

当日配付資料について

事務局から、当日配付資料について説明があった。

議事要録の確認

第5回会議議事要録の確認があった。

議 事

1. 熊本大学の運営について「テーマ：予算・財務、広報」

議長から、資料1-1に基づき、前回からの継続審議事項である、テーマ「予算・財務」について審議願う旨発言があったが、特段の意見は出されなかった。

次いで平山理事から、テーマ「広報」として、資料1-2に基づき、「戦略的広報活動の始動 - UIの確立とブランド化 - 」を課題に説明があり、本学の広報に関する基本方針と具体策等に関し、意見交換が行われた。

主な意見は、以下のとおりである。

- ・大学の製品は学生であり、どんな学生であるかを明確にして売り出すべきである。アウトプットによって世間の認識・イメージが変わる。
- ・学外に向けたPRも大切であるが、まずは学内にどういう教授や学生がいるかを把握することが先決ではないか。
- ・PRのためには、常に学内を歩き回り、魅力的と思われることは小さなことでも逐次公開していくことが重要である。また、印刷物によるPRは手間暇や費用の割に効果が少ない。
- ・新しい取り組みやトピック的なものを公表するなど、新聞・テレビ等のメディアを積極的に活用すべきである。
- ・具体的なものを知ってもらうこと、発表することが、より人々の記憶に残りPRに繋がる。
- ・キャッチコピーも大事であるが、大学がいかに関心しているか、その活動自体をメディアに載せることが「戦略的広報」ではないのか。
- ・「理念」とは、ありきたりのものであり、理念として掲げながらも具体的なものを世間へ出していくことが大事である。
- ・どういう対象にどういう広報戦略を設けるかが最も重要ではないか。共感を得るような広報マインドが必要である。
- ・今後の広報については、学生に対してのみならず、保護者へ向けた「学生を大切に扱う」というアピールも必要である。

2. 平成17年度における本学の授業料等について

議長から、資料2-1に基づき、平成17年度授業料の額に関し、文部科学省から、文部科学省令「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令」による「標準額」が改定される予定である旨通知があったことから、本学の学部学生等、正規生の授業料の額については、当該省令で示される「標準額」としたいこと、また、標準額で示されず各国立大学法人において決定

することとなる、研究生等の非正規生の授業料の額については、「現行の額に、学部学生等の授業料の改定率と同率を乗じて得た額」としたい旨提案があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

引き続き議長から、授業料等の額を定めた「国立大学法人熊本大学諸料金規則」について、資料2-2のとおり改正したい旨提案があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

なお、規則の施行日は、改正文部科学省令の施行日とする旨、議長から付言があった。

3. 平成17年度経営協議会開催日程について

議長から、平成17年度の本会開催日程について、資料3のとおり、定例として年4回の開催としたい旨提案があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

引き続き議長から、緊急に開催の必要が生じた場合は別途日程を調整させていただく旨付言があった。

報告連絡

1. 中期目標・中期計画の変更について

議長から、資料4に基づき、文部科学省から通知のあった「災害復旧に伴う中期計画の変更」に伴う本学の中期計画の変更内容について説明があり、本件については1月14日開催の役員会において了承され、文部科学大臣あて中期計画の変更申請を行うこととなった旨報告があった。

また、中期計画の変更が認可された場合、平成16年度の年度計画で、「予算、収支計画及び資金計画」の各該当事項について同様の変更を行い、文部科学大臣あて届け出る旨議長から付言があった。

2. 平成17年度概算要求内示について

事務局から、資料5に基づき、平成17年度概算要求(内示事項)等について説明があった。

3. 平成17年度熊本大学予算編成の基本方針(案)について

議長から、資料6に基づき、平成17年度熊本大学予算編成の基本方針(案)について説明があった。

4. その他

政策創造研究センター(仮称)の設置について

議長から、追加資料に基づき、本日の企画会議において政策創造研究センター(仮称)設置準備委員会の設置が承認された旨報告があった。

以上

次回開催予定日：平成17年3月17日(木)14時

<配布資料>

- 資料1 ・熊本大学の予算・財務における現状と課題(資料1-1)
・戦略的広報活動の始動 - UIの確立とブランド化 - (資料1-2)
- 資料2 ・平成17年度における本学の授業料(案)(資料2-1)
・国立大学法人熊本大学諸料金規則の一部を改正する規則(案)新旧対照表(資料2-2)
- 資料3 平成17年度経営協議会開催日程表(予定)
- 資料4 国立大学法人熊本大学の中長期計画新旧対照表
- 資料5 平成17年度概算要求(内示事項)について 他
- 資料6 平成17年度熊本大学予算編成の基本方針(案)
- 追加資料 地域の課題解決のための政策提言